

国際ニッケル研究グループ (INSG)

当グループについて

国際ニッケル研究グループ(INSG)は 1990 年創設の自立した政府間機関で、本部をポルトガルのリスボンに構えております。会員にはニッケルの生産国、使用（消費）国および取引国が含まれています。

主要目的:

市場の透明性を高める目的で、ニッケル市場に関する詳細統計の収集と刊行（生産、使用（消費）、取引、保管、価格の他、再利用などの統計）；

産業施設や環境規制など、ニッケルに関するその他の情報の刊行；

環境問題を含む、ニッケル生産国や消費国および業界に関連する、ニッケル問題の議論の場の提供；

ニッケル市場や関連の話題に関して、経済分析を実施。

活動

国際ニッケル研究グループは、月例世界ニッケル統計紀要および世界ニッケル生産施設一覧の作成など、統計に精力的に取り組んでおります。これらの定期刊行物は、お手頃な価格で一般向けに提供しております。

その他以下のような、一般的に会員のみが入手可能な刊行物も提供しております：

半年ごとに刊行されるニッケル生産、使用（消費）および市場バランスの短期予測；

ニッケルの採掘、溶解、精練および鉱山の閉鎖に関する最新動向の年間概説；

ニッケルの環境・健康および安全に関する既存の、あるいは提案された規制を毎年編集。

会合

国際ニッケル研究グループは、通常ポルトガルのリスボンで、4月と10月の年2回会合を持っております。

国際ニッケル研究グループの会議は全て私的なもので、参加国の政府や業界の代表のみがご参加いただけます。ニッケルに特に関心のある非会員国は、INSGの会合にオブザーバーとして招待され、正式参加を促される場合があります。常任業界団体オブザーバーは招待を受けます。オブザーバー機関も参加が可能です。

会員

INSGが政府間の機関であるため、会員はニッケルの生産国、使用（消費）国、取引国の政府、あるいは国際合意の実施に責任を負う政府間機関です。

現在の加盟国は、以下の通りです: イタリア、英国、欧州委員会、オーストラリア、オランダ、キューバ、ギリシア、スウェーデン、ドイツ（準会員）、日本、ノルウェー、フィンランド、ブラジル、フランス、ポルトガルおよびロシア連邦。

事務局

事務局はポルトガルのリスボンに位置しており、職員 5 名を擁しております:

事務局長 Mr. Don Smale

統計主任 Mr. Sven Tollin

経済環境担当 Mr. Curtis Stewart

統計アナリスト Mr. Ricardo Ferreira, Statistical Analyst

総務/秘書 Ms. Inês Soares

事務局住所

International Nickel Study Group

Rua Almirante Barroso,

38 - 5th, 1000-013

Lisbon, Portugal

電話番号: (351) 21 356 7030

fax: (351) 21 356 7039

email: insg@insg.org

ウェブサイト: www.insg.org